発行日　2021/3/1

議　事　録

件名　アパレル技能科　教育編成委員会ミーティング　管理No　6

日　時	2021年3月
場　所	
出　席　者	株式会社アズノウアズ　人事・総務部マネージャー　中村　潤様 株式会社ステップス　常務取締役 採用教育部長　塚田龍一様 有限会社ビーシーコスチューム　代表取締役　太田えりこ様 株式会社クレヨン　営業本部人事部マネージャー　山田 雄祐様（都合により欠席につき資料にてフフィードバック） ソーイングアサヒ株式会社　代表取締役　髙橋英一朗様 一般社団法人　日本アパレル・ファッション産業協会　境泰志様 東京服飾専門学校 山下節子　吉岡文子　伏見幸恵　大滝秀一　古賀由紀夫 梨本雅子　福嶋哲平　中島由紀子　荒井光（下段4名 学生対応のため欠席）
欠　席　者	5名
概　要	1.次年度における各科カリキュラム、シラバスの配布と編成経緯、変更点、留意点について。 2.次年度における産学連携、職業実践体験プログラムの実施内容調整
内容	コロナ感染症の蔓延防止の為、委員会を文章による意見交換するものとした。 ① ・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上へのご意見をお願い。 ・第6回 教育編成委員会の目的と議事項目 ②産学連携授業の実施結果 産学連携授業については、昨年同様に実施ができたことによって知識と技術の習得が例年通りに行えた。研修やインターシップの件数は減少し、技術の習熟やインターンシップを通しての就職活動に影響を与えた。 ③今後の展望や問題点、課題 令和2年度のアパレル技能科については、制作授業においての各種機材に利用において、学生の利便性や希望によって自由に選択して使用が可能であるが、実務における縫製工場での縫製技術の習得については必ずしも一定の技量を得ているとは言えない場面もあり、工業生産技術の習得に向けた専門教科の設置や機材の充実をはかりたい。 また、基礎過程においても、実演実習への理解が深まる授業のあり方を検討したい。 ④令和2年度の修学成果 業界にとって、コロナ感染症対策によるところの変化が大きく、本学では3月からオンライン授業の実施に向けた機材や環境整備により「学びを止めない」ことができた。また徹底した感染対策を行い、オンラインに重点を置いただけではなく、対面授業の実施と併用を進めて、いつでも変更できるような時間割のシフトを複数パターン用意して状況に即対応した。結果として夏休みの縮小、秋休みの中止によって修学時間も例年とほぼ同じ時間数を行うことが出来た。 ⑤次年度に向けた改善策 令和3年度においては、入学者数が増えることとなり、より強力に機材の新規導入を図る予定。 さらに、授業においてもデジタルツールの導入を積極的に進めることで、より学生の理解度や復讐に役立てる。

添　付　資　料	当日の配布物:産学連携関係授業シラバス
決　定　事　項	
課　題　事　項	③、④を参照
次　回　日　程	2021.3
特　記　事　項	

	作成者
	大滝